

# HOG

## 教区新報

### YOOG

発行所

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号  
(本願寺神戸別院内)  
電話 神戸(078)341-5949(代)  
【編集】 兵庫教区広報部

2013. 4 188号

## 寺院後継者育成へ

### ―寺婦・特法協が研修会―

三月二十九日、神戸別院を会場に『新坊守・坊

守後継者のつどい(教区本研修会は、今後、住職

寺婦連盟主催)『立華研

修会(教区寺婦連盟・特

別法務員協議会共催)が

躍される、新坊守・坊守

後継者を主な対象に開かれるものである。

午前は『新坊守・坊守

後継者のつどい』として、

別院三階の総会所にて和田

田宏之師(教区勤式指導

員・揖龍東組源徳寺)を

講師に、衣体の被着法や

衣体のたたみ方について

研修が行われた。

その後、昼食を交えて

の意見交換・懇親会が開



実際に立てながらの研修

かれ、同じ新坊守・坊守後継者という立場の中、様々な思いや意見が話された。

午後は、会場を二階ホー

ルに移し『立華研修会』

が開かれ、稲葉芳道師(奈

良教区吉野北組法泉寺)

を講師に、日常、本堂に

お供えする仏華の立て方

についての講演の後、参

加者各々が、実際に立華

を立てながらの研修と

なった。

つどい参加者は「忘れて

てしまいがちな衣体のた

たみ方や、知らなかった

ことを教えてもらい、大

変勉強になった。住職任

せにせず、たたむ手伝い

等を頑張つて行おうと思

う。今後の研修では、作

法や勤行についても色々

と教えてもらえたらと思

う」と述べた。

また、立華研修会の参

加者の中には「講義を受

けて仏華の意味も良くわ

かったし、とても奥深い

ものだと思った。自坊で

もぜひ、立ててみようと思

う。今後も立華の研修

があれば続けて参加したい」などと話す方も。



孫が小学校に入学した時の写真は、桜満開の下で喜び

に弾けた姿です◆それ

を見るたび親鸞聖人(幼名松

若丸)お得度に際し、『明日

ありと思ふ心のあだ桜、夜

半に嵐の吹かぬものは』

と詠まれたお姿が浮かびま

す◆私が初めて体験した

感動があります。それは、

ある年のお寺の仏壮懇親

会で一人の会員が讃歌「し

らんささま」を歌い始めま

した。おそらく四年前に往

生されたお連れ合いを偲

ばれ、歌わずにはおれな

かつたのでしょうか。すると

何人かが一緒に歌うので

す。何とも言えない雰囲気

に本堂内が包まれ、胸が熱

くなった事を今も思いだし

ます。どんなに小さな思い

や行いもすべて、みほとけ

さまに抱かれています◆新

たな始まり「御同朋の社会

をめざす運動」(実践運動)

は2年目を迎えます。一人

ひとりが、お念仏をよるこ

び心豊かに生きることので

きる社会の推進に努めなければなりません。

教区門推会長 西畑博亮

# 新年度予算決まる

「各組との対話に重点」  
教務所長が所信表明

『第百五十五回定期教区会』が三月二十五日に召集された。

教区ブロック別公聴会での協議成果を踏まえて計画された、平成二十五年度の教区基本方針やそれに基づく法規議案・予算案などが審議され、上程された全議案の可決をもって閉会した。

議案上程に先立ち、教務所長が「宗派宗門を構成する門信徒・寺院・組・そしてその現場を統括するのが教区の役割であり、現場の意向無くして宗門の発展はないものと存じます。

今後教区といたしましては、『御同朋の社会をめざして』地道ではあっても着実な一歩を前進させるために、新年度はブロック別公聴会を発展させた『教務所の組巡回』を実現し、各組へ赴き直接ご住職、僧侶の皆さんと対話をし、教

区全般の把握と、問題点を明らかにしながら、教区の将来を見据えた取り組みの第一歩を位置づけます。(所長挨拶抜粋)と所信を述べた。

また、本会では昨年七月に宗派より告知された『宗派懇志』の再度の変更について説明がなされ、四月一日より宗派懇志の「院号扱」(院号・点数付与)は、本山本願寺の門徒講懇志「永代経扱」(開闢法要・院号・式章等)と同じ内容へ変更になることが確認された。

本教区会にて採決された、平成二十五年度兵庫教区一般会計歳計予算は以下の通り。

## 2013(平成25)年度 兵庫教区一般会計歳計予算

[歳入]

| 款 項     | 費 目         | 25年度予算額     | 24年度予算額     | 対比(△減)      |
|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 1       | 賦 課 金       | 69,600,000  | 65,370,000  | 4,230,000   |
| 1       | 本 年 度 賦 課 金 | 69,400,000  | 64,920,000  | 4,480,000   |
| 2       | 過 年 度 賦 課 金 | 200,000     | 450,000     | △ 250,000   |
| 2       | 宗 派 交 付 金   | 27,865,000  | 29,791,000  | △ 1,926,000 |
| 1       | 各 種 助 成 金   | 18,265,000  | 20,191,000  | △ 1,926,000 |
| 2       | 地 方 事 務 費   | 9,600,000   | 9,600,000   | 0           |
| 3       | 願 記 冥 加 金   | 5,500,000   | 5,500,000   | 0           |
| 1       | 願 記 冥 加 金   | 5,500,000   | 5,500,000   | 0           |
| 4       | 会 費 収 入     | 4,010,000   | 3,570,000   | 440,000     |
| 1       | 会 費 収 入     | 4,010,000   | 3,570,000   | 440,000     |
| 5       | 繰 入 金       | 13,005,000  | 13,120,795  | △ 115,795   |
| 1       | 繰 入 金       | 13,005,000  | 13,120,795  | △ 115,795   |
| 6       | 雑 収 入       | 2,903,000   | 3,003,205   | △ 100,205   |
| 1       | 雑 収 入       | 2,903,000   | 3,003,205   | △ 100,205   |
| 7       | 繰 越 金       | 5,627,000   | 1,060,000   | 4,567,000   |
| 1       | 繰 越 金       | 5,627,000   | 1,060,000   | 4,567,000   |
| 歳 入 合 計 |             | 128,510,000 | 121,415,000 | 7,095,000   |

[歳出]

| 款 項     | 費 目           | 25年度予算額     | 24年度予算額     | 対比(△減)     |
|---------|---------------|-------------|-------------|------------|
| 1       | 教 化 事 業 費     | 38,071,000  | 34,987,000  | 3,084,000  |
| 1       | 実 践 運 動 費     | 33,971,000  | 32,882,000  | 1,089,000  |
| 2       | 基 本 計 画 推 進 費 | 2,000,000   | 5,000       | 1,995,000  |
| 3       | キ ッ ズ サ ン ガ 費 | 2,100,000   | 2,100,000   | 0          |
| 2       | 組 教 化 助 成 費   | 3,470,000   | 3,246,000   | 224,000    |
| 1       | 組 教 化 助 成 費   | 3,470,000   | 3,246,000   | 224,000    |
| 3       | 会 議 費         | 4,540,000   | 3,260,000   | 1,280,000  |
| 1       | 会 議 費         | 4,540,000   | 3,260,000   | 1,280,000  |
| 4       | 宗 会 選 挙 費     | 20,000      | 1,900,000   | △1,880,000 |
| 1       | 宗 会 選 挙 費     | 20,000      | 1,900,000   | △1,880,000 |
| 5       | 教 務 所 費       | 72,345,000  | 70,145,000  | 2,200,000  |
| 1       | 職 員 費         | 65,705,000  | 63,705,000  | 2,000,000  |
| 2       | 事 務 所 費       | 5,440,000   | 5,440,000   | 0          |
| 3       | 維 持 管 理 費     | 1,200,000   | 1,000,000   | 200,000    |
| 6       | 災 害 対 策 費     | 4,600,000   | 4,300,000   | 300,000    |
| 1       | 災 害 対 策 費     | 4,600,000   | 4,300,000   | 300,000    |
| 7       | 回 金           | 500,000     | 500,000     | 0          |
| 1       | 回 金           | 500,000     | 500,000     | 0          |
| 8       | 予 備 費         | 4,964,000   | 3,077,000   | 1,887,000  |
| 1       | 予 備 費         | 4,964,000   | 3,077,000   | 1,887,000  |
| 歳 出 合 計 |               | 128,510,000 | 121,415,000 | 7,095,000  |

※教区一般会計より款・項のみ抜粋

# 自死問題を学ぶ

―教区実践運動研修会―

三月二十五日、別院本堂にて『兵庫教区実践運動研修会』（兵庫教区・ビハラー兵庫共催）が行われた。

教区重点プロジェクト『自死（自殺）…苦悩を抱える人の居場所づくり』を受け、テーマを『自死遺族の声をきく・今、私にできることは…』として、福井智行師（自死に向きあう関西僧侶の会事務局長／真宗興正派称名寺住職）を講師に迎え、研修を行った。

講義では『ご遺族との関わりの中で気づいたこと』と題し、自殺・自死の現状、どういった形で私



データを交えながら（福井氏）

達が力になれるのか、自死遺族の方の思い・苦しみや

ご遺族と向かいあう事等についてお話を頂いた。

## 福井氏講演

実際に私達のご遺族の方と向き合う上で心がけることとして①謙虚であること②相手の方について敬意を持つこと。この二つを大きな柱として必ず持つていただきたい。

## 謙虚であること

私達はご遺族の力になります。しかし私達にご遺族の悲しみを癒すことはできません。私達に実際にできることは本当に少ないです。

ただ、自分は大了たことが出来ないから何も出来ない、ではなくて、出来ないけれども、それでも何か出来ることは無いだろうか？と『もがく』それが私達にできる精一杯のこと。ご遺族の方は、もがく私達の姿を見て感じてくださいます。

私達の苦しみは他の人にはわからないけれど、それでも私達の苦しみを

何とかわかって、もがいてくれている人がいる、私は独りじゃない、と感じ取られる。そういった中で、自身の苦しみや辛さと向き合う力を少しずつ養っていかれます。

謙虚であることの反対、救うことが出来る、導くことが出来るという思い上がりは、失礼であると同時に、ご遺族をさらに苦しめます。

## ご遺族に敬意を持つこと

ご遺族の傷は一生消えません。もちろん私達にその傷を消すということもできません。

ただ、ご遺族はその傷を背負いながら歩んでいく力、その傷を痛い痛いと思いつつも、なんとか前に進んでいく力を必ず持つておられます。

すぐにはその力は出せないかもしれないけれども、少し一休みすれば、少し状況が整えば、そういったお力というものは、ご自身の中にお持ちでいらつしやいます。

ここでいう敬意とは、ご自身の中に、ご自身の傷を受け止め、そしてそ

の傷を背負いながらも歩いていく力が有るんだ、ということが私達一人ひとりがしっかりと認識することです。

## 伴走・休憩の場

私達にできることは『共にあゆむ』ということ。ご遺族の日常の中で少しでも楽になれるような、何かあったらお話にのるよ。何かあったら言うて下さいね。何かあったら出来ることを手伝うよ…と。実際何かをしてあげるんじゃないくて、いつでも私に言うてくださいね、という様な『伴走』をしていただきたい。

そして、どうしても辛くて動けなくなつてしまつたら、少し休む場所を提供してください。色々な話を聴いて、少しだけ重い荷物を降ろして、少し元氣を取り戻したら、また、歩いて行つてくださいね。伴走であつたり、休憩の場、それが私達にできることであります。

ご遺族には、自身歩いていく力が有るんだと信頼することでありませう。（事務局抜粋）

## 祖師方ゆかりの地を訪ね

～教区寺婦研修旅行～



西福寺総代より沿革の説明を頂いた

三月十二日から一泊二日の日程で、京都・滋賀の親鸞聖人・蓮如上人ゆかりの地を巡り、教区寺婦会員の親睦を深めることを目的に『兵庫教区寺族婦人会連盟研修旅行』が開催された。

初日は、本願寺阿弥陀堂・御影堂にお参りし御真影様に挨拶後、北山別院に参拝。別院沿革の説明を受けた後、親鸞聖人がご修行の途中で、御身を拭かれたと伝わる水が湧く井戸などを訪れた。

二日目は、滋賀県は琵琶湖、沖島にある蓮如上人ゆかりの寺院、西福寺に参拝。

蓮如上人が沖島を去る際に残された、正信偈の

その後、八幡別院に参拝し、別院沿革や修復された裏門や庫裡、表門や鐘楼、本堂などについての説明を受けた。

参加者の中には「普段関わるのが少ない他の組の人とも話ができて、とても楽しかった。来年もぜひ参加したい」と話す人も。教区寺婦では今後若坊守の育成を目的とした研修会など、様々な研修・行事を予定している。



# 教区だより 5月・6月

## 5月

- 4(土) 神戸別院第一土曜仏教講座 13:30
- 7(火) 別院仏婦定例法座(水杉悟史師 多可組) 13:30
- 12(日) 中仏集い会
- 14(火) 仏婦委員総会  
〃 仏婦幹部一泊研修会(15日まで)
- 15(水) 別院常例法座(16日まで) 13:30
- 17(金) 総代会平成25年度評議員総会 10:30
- 19(日) 宍粟まどか園フェスティバル 宍粟まどか園
- 22(水) 門推幹事会 10:30
- 26(日) 神戸別院宗祖降誕会法要 13:00

## 6月

- 1(土) 神戸別院第一土曜仏教講座 13:30
- 5(水) 第3ブロック 少年連盟研修会(3日まで) 滋賀教区
- 6(木) 布教団 平成25年度総会並びに研修会 10:30
- 9(日) 仏仕報告総会 市川文化センター  
〃 中仏集い会
- 11(火) 本典勉強会(讃徳会 12日まで)
- 15(土) 別院常例法座(16日まで) 13:30
- 16(日) 神戸別院永代経法要 13:30
- 23(日) 第17期連研修了者大会 10:30
- 24(月) 勧学寮真宗講座(25日まで) 13:00
- 25(火) 仏婦平成25年度教区大会 三田市・郷の音ホール
- 26(水) 青僧会連続研修会(佐々木義英師) 14:00
- 30(日) 門推平成25年度総会並びに第55回研修会 10:30

## ビハーラ兵庫公開講座

ユニバーサル社会の実現について

ユニバーサルデザインについての公開講座をビハーラ兵庫主催にて開催いたします。聴講無料の公開講座となっております。

◆期日/四月二十三日(火)十四時四十五分より

◆会場/神戸別院三階本堂◆講師/幸福新祐氏(保健福祉局ユニバーサルデザイン推進係)◆聴講費/無料



昨年の様子(ラジオ体操)

## サマースクール

## ~参加者募集中~

今年で五十回目となる兵庫教区サマースクール。五十回を記念し、今年は兵庫教区外(鹿児島県)を会場として開催されます。

鹿児島別院への参拝や平和学習など、大切なことを学びながらのサマースクール。沢山のご参加をお待ちしております。

◆募集要項◆

◆主催/兵庫教区少年連

◆期日/平成二十五年七月二十三日(火)二十五日(木)※二泊三日◆会場(予定)/鹿児島県(本願寺鹿児島別院・かくれ念仏・開聞山麓ふれあいキャンプ場・知覧平和記念館)※鹿児島へは往復新幹線にて移動◆対象/小学三年~高校三年生(全日程参加可能な子ども)◆募集人数四十五名(先着順)◆参加費【小学生】二万円/一名(登録単位金)(未登録単位金は二万五千円/一名)【中学:高校生】二万五千円/一名(登録単位金)(未登録単位金は三万円/一名)◆申込締切/六月十五日(土)※定員になり次第締め切り◆お問い合わせ/教務所サマースクール係 ☎〇七八(三四)五九四九

## 敬 弔

左記の方がご逝去されましたので謹んで敬弔の意を表します

存 育英(神戸東組圓通寺住職)平成二十五年二月二十五日五十六歳

廣澤文雄(姫路南組明泉

## 新職員紹介



こじょうまさみち 虎城正道氏



ゆきゆきのり 湯次行範氏

四月一日付で虎城氏(兵庫教区朝来組勝賢寺)が書記・承仕として、湯次氏(滋賀教区長浜組因乗寺)が臨時勤務員として入所致しました。

## 退 職

三月三十一日付で、尾井秀瑛氏(賛事・副輪番)、小野崇暁氏(主事・参勤)が退職致しました。なお、尾井氏については非常勤として暫時、出勤されます。

寺前住職(平成二十五年二月二十七日八十七歳)

黒田久子(姫路西組満勝寺坊主)平成二十五年二月二十八日八十六歳

光山美智子(神崎組西正寺前坊主)平成二十五年三月十二日八十六歳

三月二十六日現在【敬称略】